

R18

幸福なエデンに
溺れる夜

A Night Lost in Blissful Eden



先生……

先生……

なるほど、
これは興味深いね

わーお☆
先生すごい☆



任せて☆
きへいにひ
てあげる☆♡



ななななな
…何なんだ
いまのあれ!

最近忙しすぎて、
ぬいてなかった
からだ!

……ふふ
ようやくお目覚め
かな、先生…



まあとにかく
起きて仕っ…





君があまりにも『興味深い』寝言を呟いていたものだから…

つい、観察させてもらっていたよ…

せ、セイア…!?
い、いつから…

し…しまった…?!

ズク…



ふむ…



まさかとは思うが…

些か不健全な夢でも見ていたんじゃないかい…?

おや？
その反応……凶星、
といったところか…



心を読まれた!?



『読心術』、か。
成程、君は私をそう
解釈するのだね。

だとしたら、
残念だよ…

…私はそのような
非合理的な力は持ち
合わせていない



…だが、必要も
ないだろう？

今の表情も…
狼狽ぶりも…
全部私の予測
通りだよ…

先生のことを
ずっと見ているから…
何でも知ってるよ…

さあ、先生…
夢の続きをしよう
じゃないか…





だなー
このまま立ち
去るには

あまりに
惜しい
ことだよ…

……先生に
会うために

随分と念入り
に支度をして
きたのだろうか？

待ちなさい、
ミカ…



だって…
私がいたら

また…
セイアちゃんから
『幸せ』を奪っちゃう
ことになるし……



ふふ……
私は、そうは
思わないよ

先生と二人、
至福の時間を過ごす
のも悪くはない…

…それは
事実だ

だがね、ミカと共に
その幸福を分かち
合えるのなら—

それこそが私に
とって、何より
勝る『真の幸福』
なのだよ。

うん！

そうだろう？

Good
Job!

…さあ
おいで

セイア
ちゃん…



三人で…
…必ず、幸せに
なるんだよ

それに
しても…

いいね、
先生。

先生、そんなに
ジロジロ見ない
でよお…

ドキ

ドキ

んキ

ドキ



…では
手始めに
私の舌で…

…準備して
あげようか…

はっ♡

はっ♡

ふっ♡

ふっ♡

びゅん

びゅん

んキ

☆



セイアの濡れて小さな舌に舐められて…

ミカの大きくて柔らかいおっぱいに挟まれて…

二人の声もこんなに可愛くて…

どちらも刺激が強すぎる…

気持ち良くて…もう、限界だ…

我慢する必要はないさ

…すべて、解放してしまっても構わないよ

一緒に気持ちよくなろうね先生♥

は♡

は♡

もみ

シタ



さあ...

次はこちらに移るとしようか。



大丈夫だよ
先生

私がかい
にしてあげる☆



ごめん、
二人とも!

ティツシユ、
ティツシユ



んっ……ミカ

セイアちゃん…
可愛すぎて
我慢できない…!

ミカの方……こそ…

もうセイアちゃん
とお話できないか
とおもってた

一緒にこんな事
できて嬉しいな
…えへへ

セイアのおマ○コ
急に凄くキツク
なったよ…

へんへい…
ミカ…

…と共に…
はいこうに…
ひいあわせ…♡

先生、セイアちゃん
をいっぱい気持ち
よくさせてあげて！



先生、ミカ……
感謝するよ

本当に……
最高だった

だが、まだ
おわりじゃない
だろう？

あまりミカを
長く待たせるの
は良くないよ

こんなにも
友人想いな
ミカには……

……たっぷりと
『褒美』を
あげないとな！

その通りだ

きゃあ
先生!!



ぐしよぐしよだ…
ミカ本当に
エッチだなあ—

先生!



でも、なんで
だろ

今、すっごく
気持ちいいの…

ホントは
恥ずかしい
はずなのに…

セイアちゃんに
見られてるなんて



この『幸せ』…
セイアちゃんも

一緒に分かち
合いたいな…♡

ミカ、あそこ…
ダメ……!!

ミカは本当に
いい子だね

気持ち良くさせて
あげないとな!!

先生…♡♡!
びしょ

ぽちゅ

ぽちゅ

ぽちゅ



おとこ♡

お♡

おとこ♡

ほ♡
ちゅ♡

ほ♡
ちゅ♡

ほ♡
ちゅ♡

ミカの『喜び』を…
思いつきり
声に出して
伝えてほしい！

こっちもすぐに
射精そうなくらい
げど…我慢…

お♡

お♡



あっ♡

あっ♡

見られながら
イっちゃう♡♡

イッ
イッ
イッ
イッ
イッ

先生で中が
いっぱいに
なっちゃった♡

こん…こんな
だされたら…
はあ…はあ…



二人とも
最高に
可愛い！

君たちは天使だ
…いや、もはや
女神だ！！



あんな姿
セイアちゃんに
見られちゃった…
どうしよう…

ミカはとても
可愛らし
かったよ



先生…

じゃあ
私たち…

もっと
お願いしても…
…いい？

ああ、何度でも
君たちを満たして
あげるよ！！

やはり
イツたばかり
だから

：格別に敏感
になってしまっ
みただね、ミカ

先生：早く…
膣内に挿入して
ください…

出し入れされる度…♡

感じすぎ…ちやう…♡



ヒュー...

シュー...

ビュー...

シュー...

シュー...

感謝するよ、
先生…ミカに、
これほどの『幸福』
を与えてくれて

雄と雌の本能が
一つに重なり合う…
これほどまでに
感動的な…

どうやら私も…メス
としての本能に支配
されてしまったらしい

これが私の本能が
今最も求めている
ことなのだよ…

気持ちいい
だろう？

あ…セイア
のなかとても気持ち
いいですよ…

はっ
ちゅ♡

はっ
ちゅ♡

もっと気持ちよくしてあげる!!

は...♡

奥まで...♡

は...♡

...セイヤ

このまま横になって休もう



ミカも
一緒に休もう

ちょっと
待って、先生!

キヴォトスの
女の子に『限界』
なんてないんだよ?

きっと、随分と
体力を消耗した
だろうから……

最低10回は
付き合ってもらわない
といけないな♥

えっ?!



先生…

先生…

イク…こんな
イっちゃう…動物みたいに…
犯されて…っああ…♡

先生…早く射精
してください…♡

ん…♡
んんんん…

先生…
どうかミカを幸せ
にしてやってくれ

お願い…
セイアちゃんを
幸せにしてあげて

このまま…三人で永遠に
『幸せ』という名のエデンにのよう♡

END

【あとがき】

ここまで見てくださり、ありがとうございます！
今回はセイアとミカの本です！
初めての複数メインキャラということで、かなりの挑戦でした。
特にセイア！
彼女のセリフと性格の描写は……本当に難易度が高すぎました！（泣）

まだまだ未熟な解釈かもしれませんが、
私はセイアとミカの関係性が大好きなんです。
本編ではお互いを思い合っているのに、
表に出る感情は真逆になってしまう……
そんな不器用な「絆」がたまらなくエモいですよね……

今年の水着イベントで、
ティーパーティーのみんなの新衣装が見られて良かったですね。

ミカはやっぱり、みんなの幸せを願う本当にいい子！
そして水着セイア……
彼女はもう、そこに佇んでいるだけで先生を幸せにする
オーラがありました。

うまく伝わったかは分かりませんが、
今回は『幸せ』をテーマに描きました。
この本を通して、読んでくださった皆様にも「幸せ」が伝わりますように！

「幸福なエデンに溺れる夜」

発行日:2025/12/30
コミックマーケット107
発行:Sandrop
発行者:KiTA
連絡先:kitahakurei@gmail.com
X: kitairoha / Pixiv id=1922517
Special thanks: むめほさん
印刷:サングループ

※18歳未満の閲覧及び購入の禁止。
※本の無断転載、表紙、本文ページを加工しての販売行為などはご遠慮ください。

